巻頭特集 まえばしハニープロジェクトを推進する人々の願い

ミツバチの羽音に託す現在（いま）と未来（これから）

昨年、前橋テルサを舞台に行われた、まえばしハニープロジェクトは、前橋中心市街地でミツバチを育てる試みだ。養蜂を通したまちづくりや人づくりへの思いについて、プロジェクト発案者の内藤聡さんと、事業者である前橋テルサに話を聞いた。

昨年12月に販売されたまえばしハニープロジェクトの蜂蜜。販売数100個が即日完売する人気だった。前橋テルサの半径2キロメートル程度からミツバチが集めた百花蜜で、深い甘みが特徴だ

自身が得た経験を地域に還元するために

「今から7、8年前。当時、僕は名古屋を中心に活動していたのですが、その際に養蜂と出合ったんです」。FMぐんまの朝の情報番組『WAI WAI Groovin'』でパーソナリティーを務める内藤聡さんは話し始める。

軽快な語り口で、ラジオやイベントの司会など多彩な仕事で活躍していた内藤さん。しかし、過度な忙しさはやがて、内藤さんの心を強張らせてしまう。「時間に追われて、仕事をこなしている状態。家族と一緒にいても顔を合わせているだけ。心が鈍感というか、あまり何かを感じなくなってしまったんです」。

そんな状況を知人に相談すると、思いがけない提案をされた。養蜂を勧められたのだ。

促されるまま、内藤さんは名古屋市内にある東山動植物園に通い、養蜂箱の世話を始めた。「週に1度、朝5時半から7時ぐらいまでミツバチと向き合う。すると、不思議と落ち着くんです」。1年程続けるうちに、心は少しずつほぐされていったという。

ミツバチに興味を持った内藤さんはその後、自ら知識を蓄えていく。例えば、ミツバチは1日に3000カ所で受粉を行うと言われており、それは当然、植物が実や種をつくることにつながっている。自然の営みに欠かせない生き物なのだ。農業においては、農家が養蜂家に依頼して、ミツバチによる果樹の受粉を促す場合も多い。また近年では、都市型養蜂が各地で行われており、まちづくりにひと役買っている。

「調べるほどに、ミツバチの生態や役割りに惹かれたし、自分が心理的な安心を得られた経験もある。そこで、ミツバチの育成を通して、群馬の子どもたちに自然の大切さを伝えたり、まちの名産品を生み出したり、人々に元気やつながりを提供したいと考えるようになったんです」。

2018年末、内藤さんは秘めた思いを前橋テルサと、イベント関連事業などを手掛ける前橋の企業、コーエイ株式会社に相談。意気投合した3者によって、まえばしハニープロジェクトは立ち上がったのだ。

苦労を乗り越えて採取した前橋街中産の百花蜜

2019年4月からの開始を決め、プロジェクトの準備が始まった。養蜂箱の設置と管理を担ったのは、前橋テルサ。「私たちには経験者がいませんでしたから、皆でいちから勉強して、手探りで始めました」。そう話すのは、館長を務める小野里芳弘さん。内藤さんが沖縄の養蜂家から手配した8000匹のミツバチを受け入れる前に、前橋テルサは勢多前橋養蜂組合に加盟。当時の会長の手ほどきを受けながら、養蜂を基礎から学んだのだという。

街中で、前橋産の蜂蜜を採取する。ミツバチの生態を通して、子どもたちの目を自然環境に向けるきっかけを作る。これらがプロジェクトの大きな目標だ。そこで内藤さんと前橋テルサでは、勢多農林高校生徒と一緒に蜜源となるプランター植栽を行ったほか、ワークショップの開催やイベントでの広報活動などを積極的に展開。また、コーエイ株式会社を筆頭に、協賛企業を募るのはもちろん、市民が気軽に活動に参加できるよう、協賛缶バッチの販売を通して、活動費を捻出した。

結果、昨年は3回の蜜絞りを実施し、合計37リットルの蜂蜜を採取。成分分析の結果、糖度84パーセントの上質な百花蜜であるのも判明した。

年間を通したプロジェクトの成果について内藤さんは、「ラジオにお便りをもらうなど、関心が広まっているのを感じます」と手応えを話す。小野里さんも、「蜂蜜は瓶に入れて100個販売したのですが、即日完売しました。皆さんの関心の高さに嬉しくなりましたね」と頷く。

ミツバチの巣を狙うスズメバチの駆除や、夏場に面布を着用し、汗だくになりながら養蜂箱の管理をするのは大変だ。それでも内藤さんと小野里さんは、「前橋テルサに人々が気軽に集まって交流し、養蜂を通して気持ちが元気になるきっかけになったら嬉しい」と言葉を重ねる。また、小野里さんと一緒に管理を担う前橋テルサの今井利恵さんは、「皆さんに花の苗を配布するなど、新しい挑戦をしたいです」と話す。蜜源が増え、花々でまちを彩り、市民は気軽に参加できる。そんな今後の展開に思いを馳せた。

この春2年目を迎えるまえばしハニープロジェクト。大切に育てたミツバチには、我がまちの現在と未来を思う人々の、熱い願いが込められている。

WAI WAI Groovin'
パーソナリティー
内藤 聡さん

公益財団法人 前橋市まちづくり公社
前橋テルサ　副参事 兼 館長
小野里芳弘さん

公益財団法人 前橋市まちづくり公社
前橋テルサ　副主幹
今井利恵さん

1 昨年4月に沖縄から到着した8,000匹のミツバチ。前橋テルサ10階の中庭に養蜂箱が設置された　2 6月には勢多農林高校の生徒たちと蜜源となる花々をプランターに植えた　3 7月には一般向けのワークショップを開催。養蜂箱に触れたり、ミツバチの生態や役割りを学ぶハチ育が行われた　4 昨年は春と秋に合計3回の蜜絞りを実施した

プロジェクトの協賛企業は合計13社。他にも市民参加を促すために、1個300円で協賛缶バッジを販売した。缶バッジは現在も前橋テルサで販売している（前橋テルサ／027-231-3211）

文／生形勝喜　写真／Studio F COLLAGE　写真提供／前橋テルサ　デザイン／神尾方子